

吉野の観光資源を活かす



風光明媚な吉野

当町の観光は、吉野山の桜、寺社仏閣、吉野川、津風呂湖、宮滝遺跡、国栖の里など、自然及び歴史的な観光資源に非常に恵まれています。また、吉野山を含む地域が平成十六年に「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録され、より一層広く認知されました。

四季を通じた観光

町の観光のシンボリックな吉野山の桜は、役の行者が桜の木に蔵王権現像を刻んで以来、神木として約千三百年間にわたり延々と植樹がなされてきました。現在の桜は、財団法人吉野山保勝会が中心になり活性化対策や維持管理を実施しています。しかし、この桜の中には寿命が訪れていると思われる高齢木も多くなっています。また、同じ場所に植樹が続いたためイヤ地現象も発生しているため、新たな桜の植樹場所の確保や一層の維持管理対策が必要となっています。観光客の受け入れとしては、従来から観桜期におこなってきたパークアンドバスライドを実施し、道路の渋滞緩和が図れるようになりました。

桜については、「吉野山保勝会」、「吉野山交通・環境対策協

レクリエーションとの連携による津風呂湖観光

津風呂湖は、遊覧船、貸ボート等での水辺のレクリエーションや、鮎、鯉などが放流され遊魚場、鮎の稚魚採取等の観光漁業の場としても活用されています。現在、建設が進められている北岸道路が完成すれば湖周辺の一体的な利用が可能となります。

これからはさらなる湖面周辺の一層の美化と、隣接する吉野運動公園におけるスポーツと周辺の豊かな自然をいかしたレクリエーションの連携が必要です。



多くの人との

交流が望まれる宮滝



宮滝遺跡は、吉野川に面して弥生時代から奈良時代に至る各時代の遺跡であります。壬申の乱の大海人皇子の拳兵、持統天皇の何回にも及ぶ行幸、万葉の歌人などにもこよなく愛された歴史的な地域です。

この宮滝地域にある遺跡公園、河川交流センター、吉野歴史資料館を有効活用し、魅力ある地域とし、多くの人々の交流の場として活用が望まれます。

議会」など関係団体と連携し、桜の保全、桜山の拡大など総合的な対策が必要です。また、桜だけでなく、アジサイ、さつき等の植栽をおこない四季を通じてどこかで花木が楽しめる吉野山にならなければいけません。

交通渋滞の解消を...

一層の交通渋滞の解消に向け、県道改良の要請や「吉野山交通・環境対策協議会」と連携し、パークアンドバスライド、平成十八年からおこなっている観光バス予約制のより円滑な運営の支援が求められています。



国栖の里構想

国栖は、悠久の時代から吉野割り箸や吉野手漉き和紙等の、ものづくりの里として育まれてきました。また、国栖奏や太鼓踊りの地でもあり、地域の魅力を活かした参加体験型の交流地域となっています。また、温泉の開発、河川をいかしたオートキャンプ場の開設等をおこない新たな交流の場「国栖の里」にならなければなりません。



吉野川の

ごみ問題の解消を...

町の中心を東から西に流れる吉野川は、夏場の水辺でのアウトドア志向の拡がりから多くの人々を集めています。また、鮎、あまこ、鯉、うなぎなどが放流され、遊漁の観光漁業も営まれています。しかし、近年、大滝ダム等の影響、水量の減少などにより良好な環境でなくなり、釣り客の減少も見られます。

ごみの放置などの問題の解消、河川美化とともに、清流の保全への新たな取り組みを検討する必要があります。漁業組合への支援を継続して観光漁業の振興を促進しなければいけません。



広域的な観光振興により線から面へ...

これらの非常に多くの観光資源（自然・文化財・人材）「吉野の宝」を愛用し、まだ表にでていないものを掘り起こし、磨き上げ魅力の拡大を図って地域の活性化を図らなければなりません。「交流・参加・体験」を主体に観光振興の促進を図ります。各地域の特色を活かし、町内だけでなく広域的に各地域の個性を活かしたテーマ型の回遊観光を創り観光振興をより一層推進していくことが必要と考えます。

